

大船渡市 プレスリリース

定例記者会見資料
令和8年2月19日（木）
担当：農林水産部農林課
農政係（内線348）

第36回全国椿サミット大船渡大会の開催について

3月14日（土）・15日（日）の2日間、大船渡市民文化会館アリスホールを会場に「第36回全国椿サミット大船渡大会」を開催します。

本大会は、大船渡市の魅力を全国に広く発信することを目的とし、椿の名所や歴史、特産品、椿を活用したまちづくりの取組などを紹介します。

あわせて、これまでの復興支援への感謝の気持ちと、復興の過程で生まれた椿に関するさまざまな活動について、多くの来訪者の皆様にお伝えしたいと考えております。

市民の皆様におかれましても、ぜひこの機会に御来場いただきますようお願い申し上げます。

1 主催等

- (1) 主催 全国椿サミット大船渡大会実行委員会、大船渡市
(2) 共催 全国椿サミット協議会、一般社団法人日本ツバキ協会
(3) 後援 株式会社東海新報社、株式会社岩手日報社、株式会社IBC岩手放送、
NHK盛岡放送局、株式会社テレビ岩手、株式会社岩手めんこいテレビ、
株式会社岩手朝日テレビ

2 キャッチフレーズ

椿に託す感謝の想い 復興の歩みを未来へ

3 日時・会場

3月14日（土）10:00～17:00

15日（日）10:00～14:00（作品展示のみ）

大船渡市民文化会館アリスホール

4 事業内容

令和8年3月14日（土）

(1) 特産品販売等

時 間	イ ベ ン ト	内 容
10:00～17:00	特産品販売等	<ul style="list-style-type: none">・特産品・椿関連グッズ販売、椿ゆべし振る舞い・椿に関する芸術作品（絵画、写真、手芸、木工品、陶器、詩、デジタルアート、短歌）の展示・東日本大震災パネル、大規模林野火災パネル展示・大船渡ツバキ協会展示（椿の木を使った作品） <p>※会場：中庭、ホワイエ、マルチスペース</p>

(2) ステージプログラム

【市の紹介及び復興支援への御礼】〔会場:大ホール〕

時 間	イ ベ ン ト	内 容
13:10～13:30	大船渡市紹介	市の紹介動画の上映
13:30～13:40	東日本大震災及び大規模林野火災の復興支援への御礼	大船渡市長による復興の経過報告及び御礼 (東日本大震災及び大規模林野火災の復興に関する画像映写)

【第36回全国椿サミット大船渡大会】〔会場:大ホール〕

時 間	イ ベ ン ト	内 容
13:45～14:00	オープニング セレモニー	岩手県立大船渡東高等学校太鼓部 「大船渡東高校太鼓演奏」
14:00～14:15	開会行事	主催者あいさつ、共催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露
14:15～14:35	活動発表（A）	岩手県立大船渡東高等学校農芸科学科 「椿と歩んだ 58 年～椿の里・可能性への挑戦～」
14:35～14:55	研究発表	岩手大学大学院 相川ゆきえ氏 「せっかく植えたのに成長が悪い!?その原因を探る!」
14:55～15:10	ステージ	さんりく・大船渡ふるさと大使 XUXU 「camellia～椿のうた～」ほか(市民合唱団との合唱)
15:10～15:30	こども郷土芸能	平七福神保存会 「平こども七福神」
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:20	活動発表（B）	株バンザイ・ファクトリー 代表取締役 高橋和良氏 「椿の産業化について」
16:20～16:50	記念ステージ	新沼謙治氏 「ふるさと大船渡の復興への想い」を込めた歌
16:50～17:00	閉会	

令和8年3月15日（日）

(1) 椿に関する作品展示

時 間	イ ベ ン ト	内 容
10:00～14:00	作品展示	椿に関する作品展示（会場：マルチスペース）

(2) 現地視察

時 間	コ ー ス 名	行 先
8:30～13:00	①椿と碁石海岸コース	世界の椿館・碁石、三面椿、博物館、 碁石海岸散策
	②椿と大船渡駅周辺コース	世界の椿館・碁石、三面椿、気仙丸、 大船渡駅周辺散策

※現地視察への参加は、事前にお申し込みいただいた市外在住の方を対象としています。

5 高校生ボランティア協力

全国からの来場者との交流を通じて、当市の魅力・椿文化への理解を深めることを目的として、大会運営に参画するもの。

(1) 応募状況

2月10日（火）時点で若干名の応募がある。※応募期限：2月20日（金）

(2) 主な活動内容

- ① 3月13日（金）午後1時～3時 前日準備
 - ・会場設営補助、受付案内用備品の準備、配布資料の袋詰め
- ② 3月14日（土）正午～午後2時 大会当日
 - ・来場者の受付案内、会場内外での誘導整理、資料配布

6 次期開催地

次期全国椿サミットの開催地は、現時点では未定となっている。

7 問い合わせ先

全国椿サミット大船渡大会実行委員会事務局（農林水産部農林課内）

住所：〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢15

電話：0192-27-3111（内線348）

Mail : ofu_nourin@city.ofunato.iwate.jp



ステージ出演者



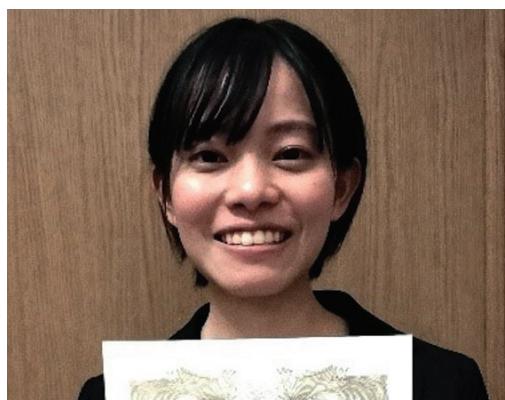
岩手県立大船渡東高等学校太鼓部

旧大船渡農業高等学校時代の昭和53年に「大農太鼓」として発足し、本年で創部47年を迎える。長安寺太鼓保存会、気仙町けんか七夕太鼓保存会の二つの保存会より太鼓を教わり、日々の練習に励んでいる。地域のイベントへの参加や介護施設訪問演奏など年間30回以上演奏を披露している。日本太鼓ジュニアコンクール岩手県予選において5連覇を果たし、岩手県代表として5年連続全国大会出場予定である。



岩手県立大船渡東高等学校農芸科学科

大船渡東高校は大船渡市の花である椿の生産管理を行い今年で58年目になる。校内のイベントや地域の方々への販売活動を通して広く周知されてきた。椿生産をする一方で大船渡市の「椿の里」プロジェクトの認知度を上げるべく、椿の魅力発信プロジェクトを立ち上げた。食から椿をPRするために椿を活用したグルメを考案、市内の飲食店で提供しやすい「椿茶ロールケーキ」「椿茶タルト」を作成し、レシピ提供に挑戦している。また、「屋内で愉しむ椿＝インテリア椿」をコンセプトに「椿のミニ盆栽」「椿のテラリウム」「椿の苔玉」等を作成し、市内で開催されたつばきまつりで制作体験会を開催した。様々なアプローチで椿の魅力を探求し、広く発信している。



相川 ゆきえ氏

岩手大学大学院 総合科学研究科 地域創生専攻に所属。ヤブツバキを卒業研究・修士研究の対象とし、現在はツバキと光環境との関係について調査している。



さんりく・大船渡ふるさと大使 XUXU (しゅしゅ)

「声を合わせることは心を合わせること」をモットーに声の持つ魅力や可能性を伝える女性3名のアカペラユニット。国立音楽大学卒。

テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK「あさイチ」「BS日本こころの歌」などのTV出演のほか、CMソング制作や全国各地に応援ソングを提供するなど幅広く活躍。結成25周年を迎える。

全国椿サミットには2012年萩大会より毎年出演し、東日本大震災で開催中止となった大船渡大会の思いを繋いで「camellia～椿のうた～」を歌ってきた。コロナ禍も含め2度の中止を乗り越えて開催される本大会へ思いを込めて歌唱する。

さんりく・大船渡ふるさと大使、群馬県上野村観光大使、長野県小布施町応援大使、東京都港区観光大使、東京都奥多摩町観光大使



平こども七福神

平七福神は、昭和の初めに陸前高田市広田町から伝えられ、船を持つ人が多かった平地域で、大漁祈願の舞として始められたと言われています。古くから、加茂神社式年大祭(五年祭)で踊られている。

普段は、小学5・6年生の男子と中学生の男子が踊り、小学3・4年生が太鼓、笛は大人と女子が担当している。

子どもたちの威勢のいい七福神をお楽しみください。



㈱バンザイ・ファクトリー 代表取締役 高橋 和良氏

(株)RICOH、(株)レジホンセンター専務取締役、(株)ドリームアクセス代表取締役、2006年に早期引退後に趣味の木工工房を盛岡市に開設。5年後に3.11東日本大震災、陸前高田市に2012年8月に移転し新築工場で事業創出。拡大のために2018年5月、大船渡市の復興特区・キャッセン8街区に工場三棟新築。三陸椿茶を主力として、ワカメの加工、木工加工を行っている。

2023年、大船渡市ビジネスプラン・コンテストに社員が発表してグランプリ大賞受賞、2024年、仙台市で開催された東北SIAにて二位の優秀賞受賞。読売新聞社主催「あしたのまち・くらしづくり活動賞」で「振興奨励賞」を受賞(ほとんどがNPO、一般団体、自治会、団体組織の中で唯一の株式会社での受賞)。全ての受賞内容は「三陸椿物語」の発表による。

現在、三陸椿茶の葉の生産事業はB型就労支援施設、仙台市、名取市、塩竈市、東松島市、石巻市、気仙沼市、陸前高田市、大船渡市の13施設と連携して、日々平均で述べ100人を超える障がい者の方々が生産を行っている。

(株)バンザイ・ファクトリー 代表取締役、一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト代表理事 博士(システム工学)



新沼 謙治氏

日本テレビのオーディション番組「スター誕生」をきっかけに、昭和51年2月1日「おもいで岬」でデビュー。続く、シングル第2弾「嫁に来ないか」が大ヒットし、この年の新人賞を総ナメ、また「NHK紅白歌合戦」にも初出場を果たす。

その後も「ヘッドライト」「酒とふたりづれ」「津軽恋女」「ふるさとは今もかわらず」等、ヒット曲多数。また、芝居の才能も発揮し、「二百三高地」(昭和54年東映)をはじめとする映画やドラマのレギュラー出演(「私鉄沿線97分署」・NHK大河ドラマ「炎立つ」)にも挑戦し、高い評価を得る。以後、平成2年までに「NHK紅白歌合戦」通算13回出場。

50周年記念最新曲「思い出したよふるさとを」

2025年4月9日発売

2025年デビュー50周年を迎えた!